

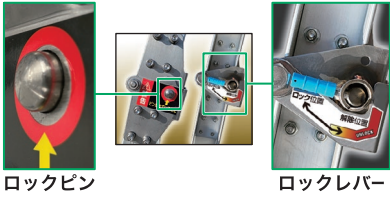
SG アンドロメダ500 L・LLの始業前点検

必ず安全確認をしてからご使用ください。

補助手すりに墜落制止用器具をかけないこと 外部より墜落制止用器具をとり使用すること

ロック確認

- ① ジョイント金具のロックピンは出ているか？ ロックレバーはロック位置にあるか？ **各4箇所**



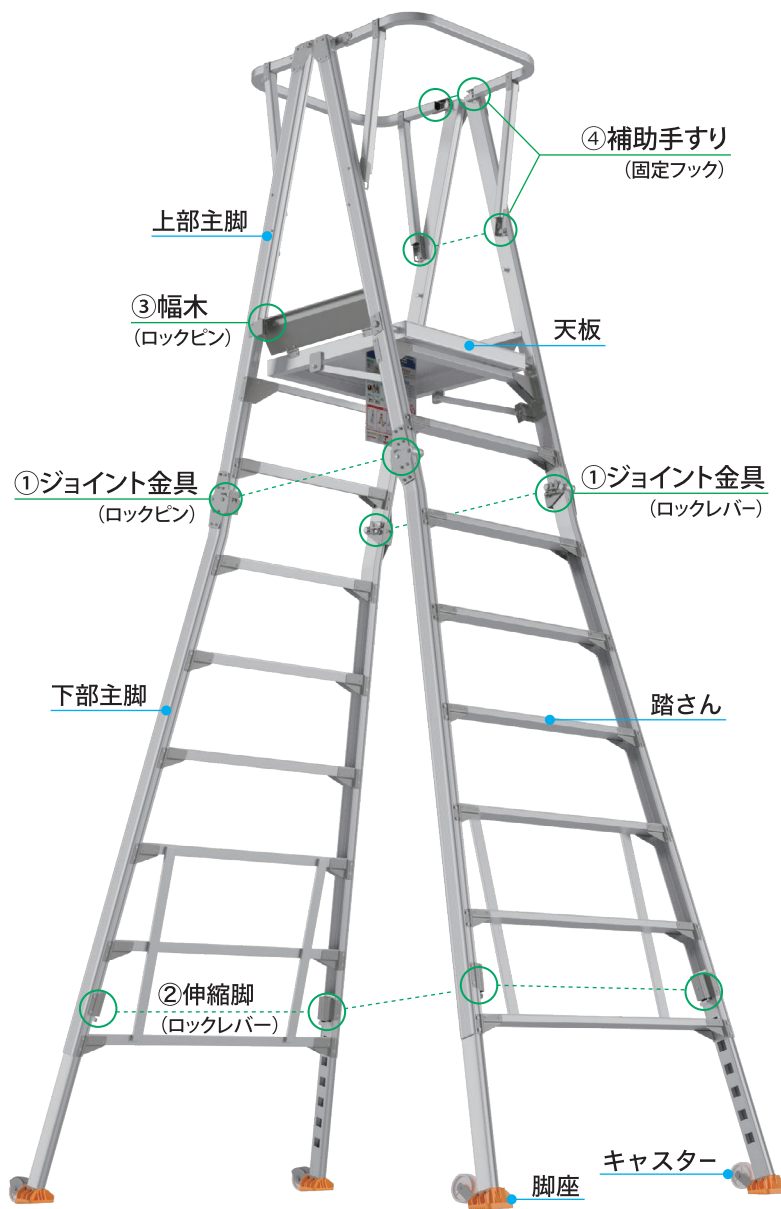
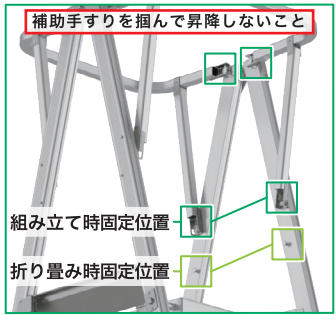
- ② 伸縮脚ロックレバーが確実にロックされているか？ **4箇所**



- ③ 幅木が確実にロックされているか？ **2箇所**



- ④ 補助手すりの固定フックが確実にロックされているか？ **8箇所**



異常の確認

- 1 各部に曲がり・亀裂等はないか？

天板 上部主脚 下部主脚 伸縮脚
踏さん 幅木 補助手すり
脚座 キャスター

- 2 平らな場所に置いてガタつきはないか？

設置後の確認

天板面が水平になっているか？



感電に注意すること。



設置する時、持ち運ぶ時は配電線に注意すること。



手を挟まないように注意すること。

最大使用質量 150kg

体重と積荷の合計重量が、最大使用質量を超えて使用しないこと。

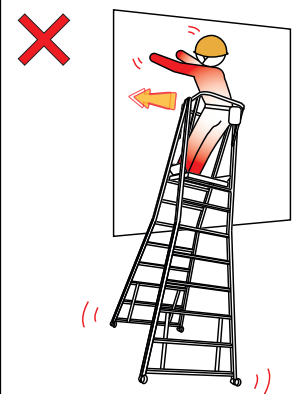
注意

塗料、接着剤、モルタル、発泡ウレタン等の付着は、全損請求となりますので、ご注意ください。



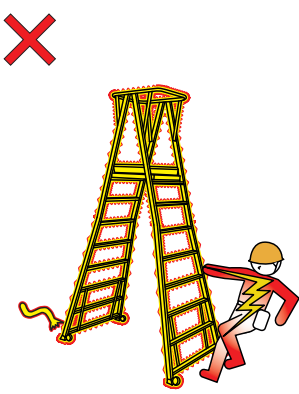
《製造元》ジー・オー・ピー株式会社
《代表》03-5534-1800

禁止事項



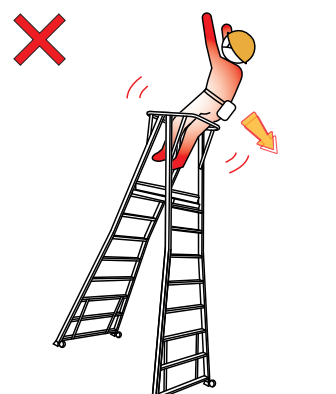
左右方向転倒注意

壁や物を無理に押ししたり引いたりすると転倒します



感電注意

これは電気を通します



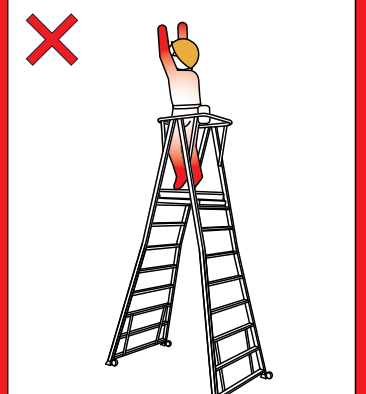
補助手すりに乗らない・腰掛けない

補助手すりに乗ったり、腰掛けたりすると転倒・転落します



乗り出し禁止

補助手すりより身を乗り出すと転倒します



天板の上で爪先立ちしない

体のバランスをくずし、転倒します

使用上の注意・他

- ・墜落防止として作業台以外の安全に取り付けられる設備に墜落制止用器具を使用してください。
- ・地面から2m以上の作業床を使用する際は、外部に墜落制止用器具等を掛け使用してください。
- ・落下物対策として作業台の周囲を囲い立入禁止処置を行ってください。
- ・本品は電気を通します。感電に注意してください。
- ・ジョイント金具に、手を挟まれないよう注意してください。
- ・天板の上に人、または荷を乗せたままジョイント金具の解除及び伸縮脚の調節は行わないでください。
- ・組み立てた状態で移動する時には、幅木を組み立て、確実にロックしてください。(幅木が天板の開き止めの役目をかかえています。)
- ・許容荷重は、150kg以下でご使用ください。
- ・作業台は作業箇所に可能な限り近接したところに設置してください。
- ・足元や周囲がはっきり見えない暗がりでは、設置しないでください。

- ・傾斜している場所や段差、凹凸等により安定しない場所には設置しないでください。
- ・人や物の出入口やドアの前等、専ら通路として使用される場所には設置しないでください。
- ・使用前にねじのゆるみ、部品の外れ、部材の割れ、変形等の異常がないことを確認してください。
- ・天板は、必ず水平な状態で使用してください。
- ・使用時は、必ず次のことを確認してください。
 1. ジョイント金具のロックピンが確実にロックされていること。
 2. 伸縮脚のロックレバーが確実にロックされていること。
※四脚の伸縮脚は常に同じ長さにセットしてください。
 3. 補助手すりの固定フックが確実にロックされていること。
 4. 幅木が確実にロックされていること。
- ・伸縮脚の下に物を挟まないでください。
- ・ロックレバー部にコンクリート、モルタル等が付着する恐れがある場合には、事前に当該部を養生してください。

- ・作業台に背を向けて降りたり、手に荷物を持ったまま昇降しないでください。また、飛び降りたりしないでください。
- ・踏みさんの上で作業をしないでください。
- ・補助手すりを掴んで昇降しないでください。
- ・補助手すりから乗り出したり、体重などを過大にかけたりせず、壁つなぎ等の転倒防止処置をとってください。
- ・補助手すりには、絶対に乗ったり、腰掛けたりしないでください。(補助手すりの破損、または転倒します。)
- ・地中梁またはで使用の際は、必ず補助手すりを取り外してご使用ください。
- ・天板の上で片足立ちや爪先立ちをしないでください。
- ・天板の上では、脚立・架台・はしご等を使用しないでください。
- ・荷物の受け渡しは昇降面側より、無理のない安定した姿勢で行ってください。
- ・同時に2人以上乗らないでください。
- ・不使用時は伸縮脚を収納してください。
- ・本品を傷つけるような、投げ下ろし等の乱暴な取扱いはしないでください。
- ・改造しないでください。

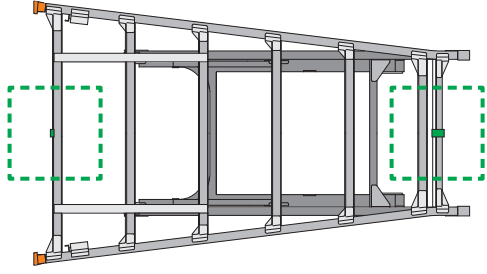
《Lc・LL組立方法》

*折り畳み時は逆の手順で行ってください。

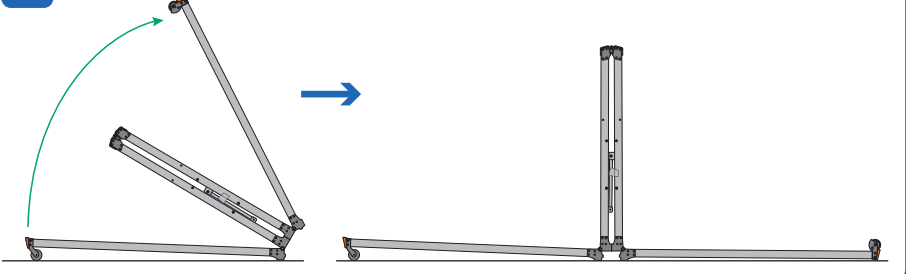
スマートフォンでPDF版を閲覧する



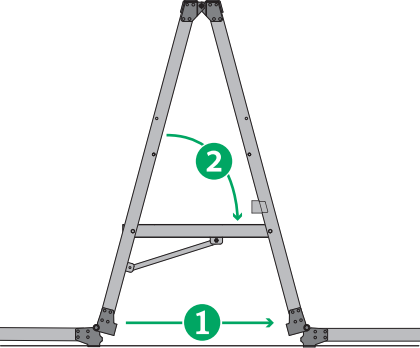
1 本体を寝かせ、踏みさんを止めている緑色のバンドを外します。



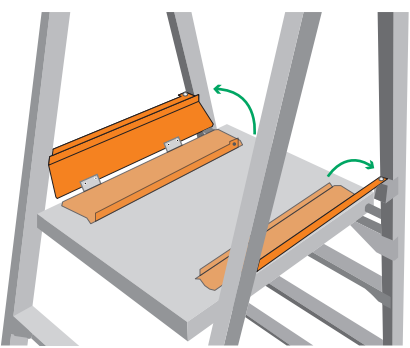
2 下部主脚を開き、主脚上部を起こします。



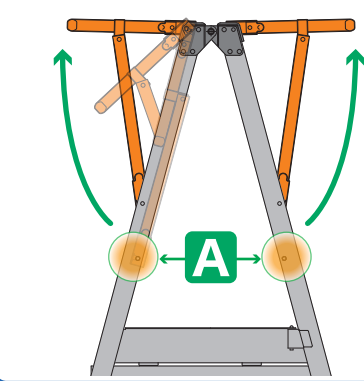
3 主脚上部を開き、天板をセットします。



4 天板両側の幅木を起こし、ロックを確認します。

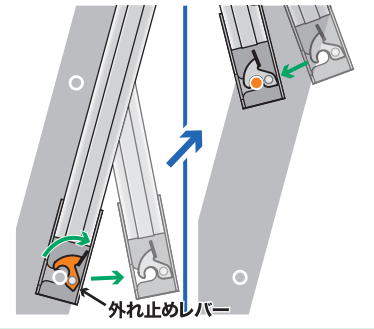


5 両側の補助手すりを起こし、固定フックのロックを確認します。

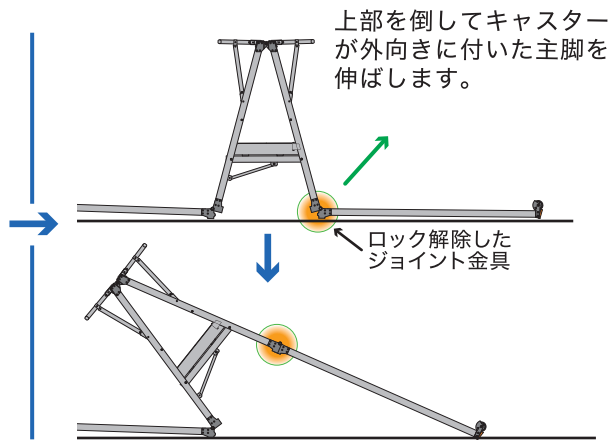
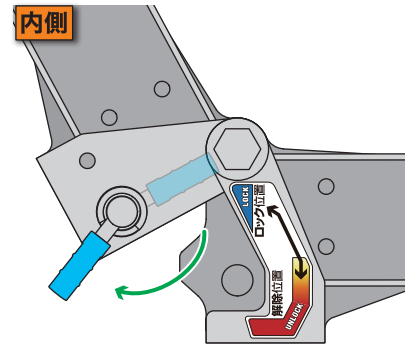


A 補助手すり固定フックの操作

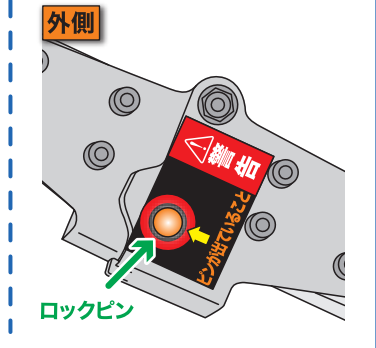
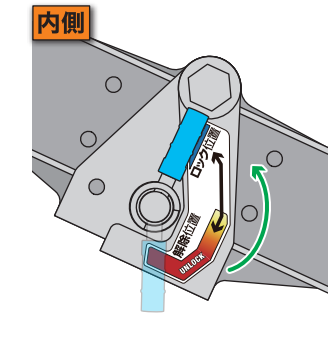
外れ止めレバーを倒して下部固定ピンから外し、持ち上げて上部固定ピンに取り付けます。



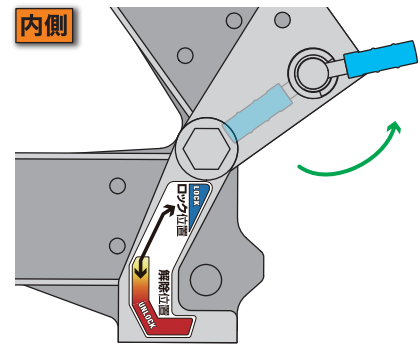
6 非昇降側の主脚ジョイント金具のロックレバーを回しロックを解除します。



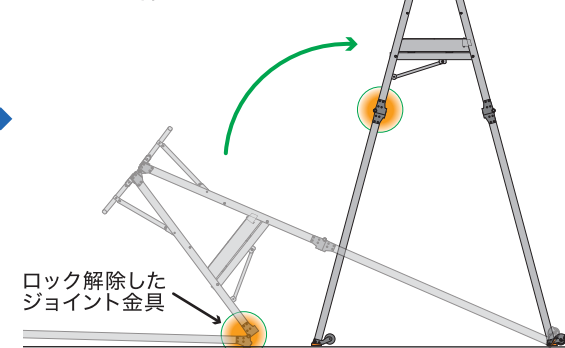
上部を倒してキャスターが外向きに付いた主脚を伸ばします。



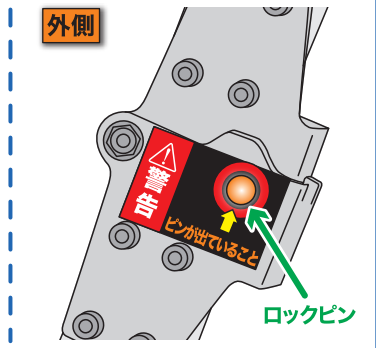
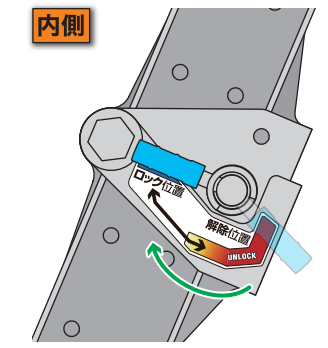
7 昇降側の主脚ジョイント金具のロックレバーを回しロックを解除します。



キャスターが内向きに付いた主脚を持ち上げながら内側へ引き寄せて伸ばします。



伸ばした主脚ジョイント金具のロックレバーをロック位置まで回し、外側のロックピンが出ていることを確認して下さい。

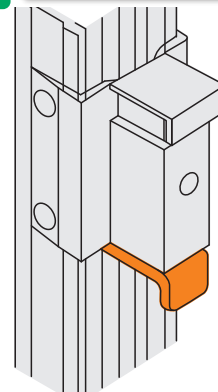


8 組立完了。



収納時は逆の手順で行ってください。

B 伸縮脚の調節方法(任意)



引張る(ロック解除)

伸縮脚の伸縮は本体を持ち上げロックレバーを操作するとスムーズに作動します。

※ロックが確実にかかって伸縮脚が滑らないことを確認すること。

※伸縮脚の角孔に亀裂あるいは変形がある場合には使わないこと。

※使用后、伸縮脚を絶対に縮めること。伸縮脚の破損、曲がりの原因になります。

現場名	
会社名	責任者名